

子ども 広報

No.665

2016年(平成28年)

9.1

1975年(昭和50年)4.1創刊

関川子どもチャレンジ100
ゴール!



4泊5日の挑戦
5人の仲間と100km完歩!

～ 子どもチャレンジ100 ～

*関連記事は16ページ

みんなに伝えたい わたしたちの想い

28年度 わたしの主張「村上」



中学生が日頃考えている意見や主張、普段の生活の中で感じる家族や仲間との絆などを発表する「関川中学校わたしの主張大会」が7月21日、関川中学校で開催されました。各学年から選ばれた代表6人が、6分以内という規定のなか、言葉一つひとつに心をこめ力強く発表しました。審査の結果、村上・岩船地区大会（新潟県村上健康福祉事務所主催）出場者に小田桜生さん（3年・下川口）が選出されました。小田さんは、8月20日に行われた同大会で発表し、奨励賞を受賞しました。*発表の概要は次のとおり。発表順。



荒木 桜輔 さん
（1年・下関）

限界の先の明るい未来

「人は成長するものだ。かつての限界も今となつてはそこも山の中腹に過ぎなかったと思うものだ」。この言葉はアニメの登場人物の言葉だ。僕もそう思った経験がいくつもある。

そろばんコンクールというのがあり、去年あんなに感じていた限界を超えることができた。また、苦手な器械体操の技もできるようになった。中学校でもシャトルランの回数が増え、幅跳びも遠くまで跳べるようになった。

このような経験から人は成長することがわかった。だから、できないこと、苦手なことがあっても、いつか限界を超え、できるようになると信じて、積極的に取り組んでいきたい。きっとその先に明るい未来が待っているはずだ。



高橋 まき さん
（1年・下関）

テストで 経験値を上げる

皆さんはテストに嫌な印象をもつのはなぜか考えたことがありますか。自分の考えはこうです。自信がないから。「自信をもって」と言われても無理です。だったら、考え方の方向を変えてみてはどうでしょうか。これはできる、解けるというポジティブ思考です。そこで自信が湧き、進める先はだいぶ違います。また、テストの点数を取るのも気持ちです。やる気を起こすことです。一人ひとり集中できる時間や方法は違うので自分にあつた勉強法を実践してみればと思うのです。最後に、もう一つ、一番覚えるのは、間違つたところです。結果をつきつけられたら、自分の経験値が上がつたのだととらえることです。少しはテストに好印象を持てるかもしれませ

2016 関川中学校

「わたしの主張」大会

読書に親しむために



ひより
小路日和さん
(2年・深沢)

ある日、祖母から、「最近本を読んでいるところを見ない。本を読むといいことがいっぱいあるんだから、本をたくさん読みなさい」と言われました。私は、このことについて考えてみました。

まず、本を読む時間がインターネットを利用する時間に変わりつつあるということです。次に、本を読むといいことがあるということについて、一つ目は想像力が豊かになり、考える力が身につくということです、二つ目は新しい語句が覚えられるということです。

インターネットと違い、本は自分が探しているものとは全く違うものとの出会いがあり、新しい世界や将来の夢へとつながったりします。そこで、これからもっと積極的に本を読みたいと思います。

温暖化が進む世界



あやか
須貝彩咲さん
(2年・下関)

皆さんは、地球温暖化について考えていますか。私たちの多くは温暖化が進んでいることなど気にせずただただ1日を過ごしているのだと思います。インターネットで、推測される2100年の様子を見て、今の暮らしがどれだけ恵まれていることなのかに気づきました。私たちは自分たちが住んでいる地球を自ら壊しているのです。地球温暖化は、世界で改善すべき最も大きな課題です。では、未来も今と同じような暮らしを続けていくには私たちは何をすべきでしょうか。私は一人でも多くの人が地球温暖化について考え、そして、それを周りの人に伝えて、地球温暖化を進めてはいけないと考える人を増やすことが大切だと思います。

積極的になる ことの大切さ



さくら
小田桜生さん
(3年・下川口)

「最近の中学生は積極性が足りない」という部活の顧問の先生から掛けられた言葉や、「もっと積極的になりなよ」という母からの言葉。人見知りの私にとっては、「積極」という語句は苦手でした。

中学2年生の冬、私は部活動で県選抜の練習会に参加し、2人1組での練習で、「一緒にやる？」と声を掛けられました。胸の中に「嬉しい」という感情が広がりました。その時、私は自分から動くことの大切さによりやく気がきました。今まで、失敗や他人からどう見られているかばかり気にしていた自分が、急にちっぽけに思えました。誰に何を言われなくても、自分一人でも動く、その小さな積極性が、きつと自分を変えるはず

私を変えてくれた水泳



たいよう
須貝太陽さん
(3年・高田)

私は、2才の頃からスイミングクラブに通っています。コーチから県内の強豪たちが集まる大会に出場できると言われ、不安でいっぱいでした。たくさんの人の期待を背負って出た大会では、目標であったタイムを切る事ができました。嬉しさと同時に感謝の気持ちがおみ上げてきました。そして、感謝の気持ちが自分をここまで成長させてくれたのだと思いました。また、助け合い、応援し合える関係を築ききつかけをつくってくれた友人にも感謝しています。

私はこの夏、引退をかけた大会を迎えようとしています。最後まで決してあきらめず、自分の力を出し切ってきたと思います。感謝の気持ちを自分のあきらめない姿で伝えたいです。



祝 成人 晴れの門出を仲間とともに

8月15日、第62回関川村成人式が村民会館大ホールを会場に行われました。

今年、成人を迎えたのは79人で、そのうち65人が式典に参加。久しぶりに同級生との再会を懐かしみ、会場のあちこちで笑顔が見受けられました。式典では、平田大六村長が「新成人の若い力と新しい感覚を活かし、村づくりに参画してもらいたい」とあいさつ。

新成人を代表して、野澤和希さん（辰田新）が「一人ひとりが自分の行動に責任を持ち、社会の一員として常に向上心を持って前進する覚悟でいます。このふるさと関川村を自分たちの誇りとして、心に刻んで行きたいと思います。こうして成人式を迎えることが出来たことへの感謝の気持ちを忘れず、力強く、たくましく生きていくことを誓います」と謝辞を述べました。アトラクションでは、中学時代の恩師からのビデオレターや懐かしの写真を集めたスライドショーを鑑賞しました。

成人を迎えられた皆さん、おめでとうございます。

新成人の声



船山 玲さん（下関）
久しぶりに関川村に帰ってきました。離れてみて感じています。関川村は、すてきな場所です。



稲家 大輝さん（桂）
大好きな関川村で暮らしています。生まれ育った村をもっと活性化したいです。



鈴木 可奈子さん（下関）
成人を迎えて、お世話になった人に感謝でいっぱいです。両親へ、20年間ありがとうございました。



石山 文哉さん（朴坂）
社会人となって仕事を始めたばかりなので、これからは、早く一人前になれるようにがんばりたいです。



高橋 愛美さん（鮎谷）
懐かしい友達に会えて、楽しいです。みんなと集まれる関川村が大好きです。



斎藤 賢さん（下関）
成人を迎えて、今まで家族や地域の方々にお世話になってきたので、今度は自分が家族や村のためになりたいです！



課題分野ごとにワーキング部会を設けて策定した「健康せきかわ21」。心がかよいあう福祉と健康のために「健康

健康せきかわ21

いきいきと暮らすためには、まずは健康でなければいけません。健康寿命を延ばすため、健康づくりに一層取り組みます。
また、支え合うむらづくりを推進し、一人ひとりが自分らしく安心して暮らせる社会の形成をめざします。



- でいきがいに満ちた生活ができる地域づくり」を基本理念にかかげています。
- **栄養・食生活分野**
▽子どものころから食生活を大切に、生涯にわたって健康なからだを保つ
 - **運動分野**
▽子どもの頃から楽しく正しい運動習慣を身につける
▽いつまでも若々しく、体力を維持する
 - ▽運動不足からくる生活習慣病を減らす
 - **たばこ・アルコール分野**

- ▽禁煙や節度ある適度な飲酒に努め、健康を保つ
 - **歯科保健分野**
▽生涯、歯と口の健康を保ち、その人らしい快適な生活を送る
- ふくし やろでばプラン**
- 今年3月に策定された「関川村ふくしやろでばプラン」。敬和学園の専任講師に指導いただきながら大勢の策定委員・ワーキングチームの協力で行われたものです。このプラン（計画）を核として、いきいきと暮らせるむらづくりを推進します。
- 計画では、「支え合うふくしで村づくり」を基本理念とし、「地域のよいところを活かし、だれもが役割をもって共に暮らしつづけるむらづくり」を基本方針としています。
- **一人ひとりの暮らしを大切に**
①顔の見える関係づくりの推進
 - ②SOSを発信できる関係づくり
 - ③学び続ける場づくり
 - **地域生活支援の仕組みづくり**

好評 **ふれあいど〜む トレーニングルーム**

自分のペースで健康づくりをしてください！

- **利用条件** 事前に講習会を受けることが必要です。講習会は予約制です。次回は、9月10日(土) 9:00~
- **ど〜む開館** 《平日》13:00~22:00
《土日祝祭日》8:30~22:00
(年末年始等は変更あります)
- **利用料金** 無料
- **問い合わせ** 市民会館 (☎64-2134)



- ①気づきを伝える仕組みづくり
 - ②支え合い、助け合う関係づくり
 - ③地域の拠点づくり
 - **みんなで協働し、村全体の福祉力を高める**
 - ◇ **村の取組み**
 - ①一人ひとりの村民の権利を尊重
 - ②関係団体の連携を推進強化
 - ③社会福祉協議会との連携強化
 - ◇ **社会福祉協議会の取組み**
 - ①集落・コミュニティ単位の
- ①気づきを伝える仕組みづくり
 - ②社会福祉関係機関との連携強化
 - ③多様な福祉の担い手の育成
 - ◇ **医療・福祉関係団体等の取組み**
 - ①地域包括ケアシステムの普及
 - ②関係団体間の連携強化
 - ③普及啓発の推進
 - ◇ **村民の役割**
 - 村民主体の原則に基づいて、地域福祉活動へ参加し、自らが福祉の担い手として地域福祉を推進する

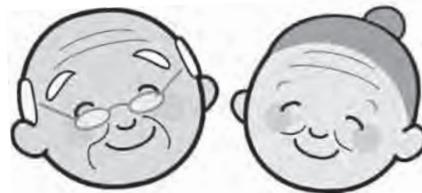
村の長寿者番付

* 8月25日現在 (敬称略)

男 性				女 性		
氏 名	集落名	年齢		氏 名	集落名	年齢
高橋 喜作	大石	104	①	高橋 サキ	蛇喰	104
小池 壽哉	下関	98	②	横山 イシノ	打上	101
高橋 巖	金俣	97	③	大沼 まん	大島	101
須貝 薫	蛇喰	96	④	高橋 ミヤ	鎌江沢	100
渡邊 勝一	勝蔵	96	⑤	高橋 ミツエ	下関	99
五十嵐 美夫	上川口	94	⑥	渡邊 ハルノ	高田	99
横山 幸	辰田新	94	⑦	駒沢 タツイ	鎌江沢	99
丹 隆一郎	蔵田島	94	⑧	伊藤 十九江	下川口	98
菅原 勝雄	片貝	94	⑨	松田 トメ	下関	98
須貝 常人	高田	94	⑩	橋本 花子	南赤谷	98
大島 彦吉	上野新	94	⑪	渡邊 しづい	沢	97
高井 正二	下関	93	⑫	大沼 チヨエ	上土沢	97
佐藤 末三郎	下関	93	⑬	渡辺 ヒデ	上関	97
堀 正蔵	湯沢	93	⑭	河内 キク	上野山	96
佐藤 吉一郎	幾地	93	⑮	佐藤 サイ	朴坂	96
駒沢 平治	鎌江沢	93	⑯	高橋 イワ	金俣	96
近 研三	上関	93	⑰	伊藤 ウメノ	沼	96
桐生 周吉	下関	92	⑱	鈴木 ミツ	蛇喰	96
板越 優蔵	幾地	92	⑲	伊藤 マスミ	下関	96
南 七郎	上関	92	⑳	菅 キン	小和田	95

*長寿者ご本人または家族の方から承諾をいただいた方を掲載しました。

9月19日は 敬老の日



おじいちゃん、おばあちゃん

いっしょにすごそう

村の長寿者番付として、男女それぞれ上位20人を紹介させていただきます。

現在、村の総人口は5,962人(7月末現在)。そのうち65歳以上の人口は、2,307人で全体の38.7%を占めています。

19日の敬老の日は、おじいちゃん、おばあちゃんに日ごろの感謝を伝え、一緒に長寿を祝いましょう。

朝早く起きて畑仕事をして、午前中は寝て休み、午後からはふれあいどろむでゲートボールをする元気なコタケさんは、今年で85歳を迎えました。コタケさんは、若くして旦那さんを亡くし、4人の子どもを女手ひとつで育てました。現在は、それぞれが家庭を持ち一人暮らしとなりましたが、8人の孫に8人のひ孫がいる幸せを感じているそうです。毎年お盆に遊びにくるのを楽しみ、畑でスイカなどを作って待っているそうです。元気の秘訣は、人とのふれ

元気の秘訣は 人とのふれあい!

あいと話してくれたコタケさん。友達が誘ってくれるゲートボールに、冬は、毎日集落センターに集まって話をしたりごちそうを作ったり、日曜日には友達とゆくむへお湯入りに。コタケさんは、人に会うことで元気でいられ、足や腰の痛みも忘れられるそうです。80歳を超えた今でも自分で雪下ろしをするというコタケさんは、来年2月に産まれる9人目のひ孫誕生を楽しみにしていました。



菅原 コタケさん (深沢)

「後期高齢者医療制度」のお知らせ

Vol.5 ジェネリック医薬品を上手に利用しましょう

ジェネリック医薬品とは

ジェネリック医薬品は、最初に作られたお薬（先発医薬品）の特許が切れた後に販売されます。同じ有効成分で、ほぼ同等の効き目や安全性がある低価格な医薬品です。

安価で経済的です

ジェネリック医薬品は、先発医薬品と比べて価格が安いのが特徴です。

先発医薬品をジェネリック医薬品に切り替えることで、ほぼ同等の効き目や安全性があるお薬を使いながら、お薬代を減らすことができます。

また、医療費も削減されることから医療保険制度の安定的な運営も期待できます。

効き目や安全性は先発医薬品とほぼ同等です

ジェネリック医薬品の有効成分は、先発医薬品において使用されており、その成分の有効性や安全性は確認されています。

国では、ジェネリック医薬品が先発医薬品と同レベルの品質・有効性を有するかどうかについて、厳格な審査を行っています。

ジェネリック医薬品を使用するには

先発医薬品をジェネリック医薬品に切り替えるときは、医師や薬剤師にお薬の効果や副作用など、今使っているお薬と異なる点について詳しく確認しましょう。



医師・薬剤師の皆様へ

ジェネリック医薬品希望カード

私はジェネリック医薬品を希望します



「ジェネリック医薬品希望カード」を活用しましょう

医師や薬剤師に「ジェネリック医薬品希望カード」を提示して希望を伝える方法もあります。

左のカードは、住民福祉課にも用意しています。

- ★新潟県後期高齢者医療広域連合では、現在服用されている薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合に、薬にかかる自己負担額が一定額以上軽減する方へ「ジェネリック医薬品に関するお知らせ」を送付しています。
- ★このお知らせによって、必ずジェネリック医薬品に切り替えなければならないということはありません。

9月21日(水)
↓
9月30日(金)

秋の全国交通安全運動

～ 夕暮れは 早めのライトと 反射材 ～

この時期、夕暮れの早まりと秋の行楽シーズンが重なり、重大事故につながる事故が多発しています。秋の運動では、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけ、交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。

運動の重点

- ◆子どもと高齢者の交通事故防止
- ◆夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ◆すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ◆飲酒運転の根絶
- ◆横断歩行者の保護

9月30日(金)は「交通事故死ゼロを目指す日」

一人ひとりが、交通ルールを守り、交通マナーを実践するなど交通事故に注意して行動することによって、交通事故を無くしましょう。



高齢者 交通安全ゲートボール大会で 交通ルールを学習

8月4日、せきかわふれあいど〜むを会場に第30回高齢者交通安全ゲートボール大会が開催されました。村上地区交通安全協会関川支部（鈴木紀夫支部長・下関）の主催で、大会には村内6チーム、約30人の選手が出場。

開会式では村上地区交通安全協会加藤悦郎会長や村上警察署高橋克行交通課長から高齢者の交通安全について説明を受け、競技開始前には参加者全員で横断歩道の渡り方を実践し、交通ルールを学習しました。

日本年金機構からのお知らせ

国民年金保険料納付猶予制度の50歳未満への拡大について

平成28年7月1日から、30歳未満を対象とした若年者納付猶予制度の対象年齢が拡大され、50歳未満を対象とした納付猶予制度となりました。

所得が少ないなど保険料の納付が困難な場合は、納付猶予制度の他にも、免除制度等もありますので、未納のままにしないで手続きを行ってください。

※納付猶予制度とは……20歳から50歳未満の方で、**本人・配偶者**の前年所得が一定額以下の場合、保険料の納付が猶予されます。

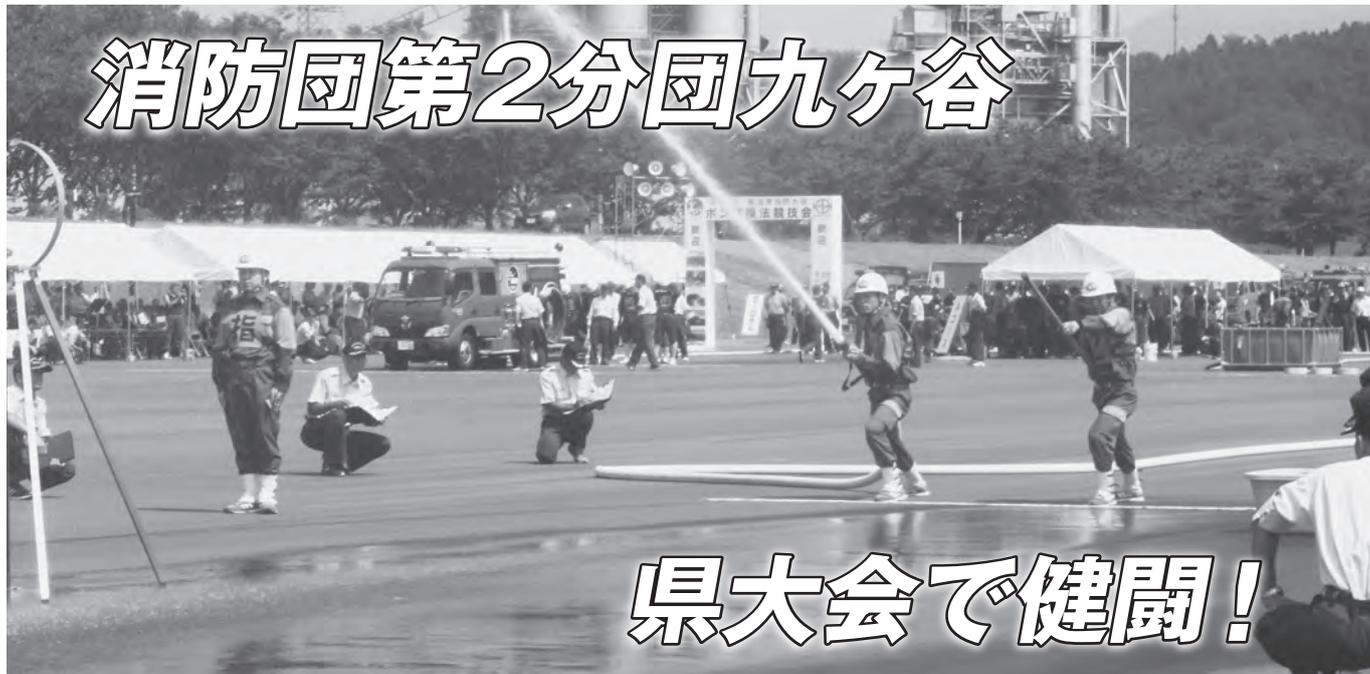
※免除制度とは……**本人・世帯主・配偶者**の前年所得が一定額以下の場合や失業した場合など、保険料を納めることが経済的に困難な場合、保険料の納付が免除されます。

【未納のままにしておく】

- ・老齢基礎年金を将来的に受けられない場合があります。
- ・障害や死亡といった不慮の事態が発生すると、障害基礎年金・遺族基礎年金が受けられない場合があります。

問い合わせ先 新発田年金事務所 ☎ 0254-23-2120 住民福祉課住民戸籍班 ☎ 64-1471

消防団第2分団九ヶ谷



県大会で健闘!

8月7日(日)、糸魚川市姫川右岸河川敷で行われた第67回新潟県消防大会ポンプ操法競技会に村消防団第2分団九ヶ谷隊が小型ポンプ操法の部で出場しました。炎天下の中、日ごろ訓練している技術を競い合いました。県内各地域から小型ポンプの部に18チームが出場した中、17位と悔しい結果となりましたが、村操法大会前から約5ヶ月間にわたり練習してきた成果を発揮してきました。

選手のみなさん、支えてきた家族のみなさん、お疲れ様でした。また、ご指導・サポートくださった消防団関係者の皆さん、そして、当日応援に駆けつけてくださったみなさん、ありがとうございました。



出場選手からのコメント



指揮者
須貝 祐介 (荒川台)

団員はじめ地域の方々のご協力を得て、県大会までの約半年の活動を行ってきました。県大会では悔しながらも目指した結果を残すことができませんでしたが、今回の活動で得た、強い団員の結束・地域との繋がりを糧に今後の活動に活かしたいと思います。応援ありがとうございました。



1番員
新野 貴洋 (金丸)

この度、村上市岩船郡から選ばれ、新潟県大会に出場の栄えを与えられました。大勢の方々から応援をいただき、胸を熱くして糸魚川に向かいました。初めての県大会の舞台に圧倒され、思うような成績をあげることができなかつたですが、これからも精進してがんばります。



2番員
菅原 将之 (片貝)

県大会へは4回目の出場でしたが、初の2番員で覚えることが多く大変でした。しかし、九ヶ谷隊の先輩や消防団の幹部の皆さんのおかげで、大舞台で操法披露することができました。結果は残念でしたが、次のチャンスに頑張りたいです。応援ありがとうございました。



3番員
船山 正紘 (下川口)

県大会は初めての出場でしたが選手として良い経験ができました。結果は納得のいくものではありませんでしたが、3番員としてチーム全員と協力して操法に取り組むことができたと思います。練習にご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。



補助員
高橋 兵栄 (下川口)

村大会から始まり、県大会までの5ヶ月間はあっという間にすぎました。補助員として県大会の舞台に出場させてもらいました。あの炎天下の中、選手一丸となって県大会に臨めたので本当に良かったです。指導者と応援して下さいました皆様に本当に感謝しています。

スクエアステップで足も脳も鍛えます！
 ～介護予防講演会～

8月2日、村では認知症予防や認知症サポーターの養成を目的に介護予防講演会を行いました。会場の村民会館大ホールには、60代から80代の男女、約50人が集まり認知症について学びました。

前半は、新潟リハビリテーション大学の田中義信先生が、認知症と運動の関係について講演。10年後の認知症発症者は、730万人にのぼることが予想されると説明すると、会場からは驚きの声が上がりました。その後、認知症は予防できる病気であること、その予防法のためには脳の血流を増やすことが大切と説明。予防法の一つとして、頭で考えてステップを踏むスクエアステップを紹介。参加者たちは、笑顔で取り組んでいました。

田中先生は、「みなさんが元気であることがこの国を助けることにつながります。大切なことは、自らが健康であるうという気持ちを持つことです」と話していました。



▲スクエアステップを学ぶ参加者たち

後半は、認知症サポーター養成講座が行われ、講座を終えた受講者には、サポーターの証であるオレンジのリングが配られました。
 参加した舟山孝治さん（上関）は、「ステップの実技では、最初とまどつたけど、慣れてくるとできた。今日からサポーターなので、周りへの声かけを心掛けたいが、まずは自分が予防法を実践していきたい」と話していました。

子どもたちに夏の思い出を！

～タランペクラブ夏の陣～



8月13日、タランペクラブ夏の陣（加藤克徳代表・鮎谷）が鮎谷橋下の大石川で行われ、帰省中の子どもたちやマリンピア日本海のスタッフなど村内外から40人が参加しました。

参加した子どもたちは、炎天下の中、かじか捕りやあみを片手に生き物探索をするなどして川遊びを満喫しました。マリンピア日本海のスタッフからは、捕まえた虫や魚の説明があり、子どもたちは、初めて聞く話にとっても興味深く聞き入っていました。

また、羽釜での炊飯や青竹ハンバーグ作りも行われ、おいしく出来た料理に参加者も大満足でした。

参加した小学生の石田悠成くん（1年・下関）は、「竹で作ったハンバーグがとてもおいしくておかわりをしました」と話してくれました。

トッププレーヤーから学ぶ「夢づくりスポーツ教室」

7月24日、村民会館アリーナで「ゆめづくりスポーツ教室」が行われ、スポーツ少年団員と関川中学校バスケットボール部員の30人が参加しました。これは、トップレベルの技術指導を通して、スポーツに取り組む意欲の向上と、子どもたちに夢を与えることを目的に、新潟県が開催したものです。新潟アルビレックスBBのプロバスケットボールプレーヤーである八幡圭祐選手と本間遼太郎選手（共に新発田本丸中学校出身）を講師に招いて行われ、プロの技術を学ぼうと小中学生が真剣なまなざしでプロ選手の動きを見ていました。

岡田慧斗さん（6年・下関）は、「失敗を恐れることなく、強いドリブルを心がけることを教えてもらいました。プロ選手のように手に吸いつくようなドリブルを身につけたいです」と話していました。



5,650本の竹灯籠で迎え火!

昨年に引き続き、上土沢竹灯籠の会（岡田周一代表）の主催で、竹灯ろうにローソクの火を灯し、先祖への「迎え火」が行われました。

8月13日の旧土沢小学校のグラウンドには、昨年の2,015本から5,650本にスケールアップされた竹灯ろうに火を灯そうと大勢の参加者が集まりました。

今回は、(一財)地域活性化センターの後援を受け実施され、かつて胎内方面から米沢街道を結ぶ主要道であった旧土沢小学校の大庭園には、米沢街道も再現されました。

ステージでは、篠笛やオカリナ、ギターなどによる演奏が行われ、幻想的な灯りと音楽で先祖を迎えました。

代表の岡田さんは、「盛りあがってうれしい。たくさんの方々に協力してもらい感謝している。これからもみんなで頑張っていきたい」と地域への思いを語ってくれました。



道具の手入れを学ぶ目立て講習



8月6日、関川村森林組合で、昨年好評だったチェーンソーの目立て（刃を研ぐこと）講習会が今年も開催されました。講習会は、村森林組合と県村上地域振興局農林振興部の共催で開催され、20名の参加者が自前のチェーンソーを持ち寄り、日々の使い方や手入れの仕方を熱心に学んでいました。

始めに新潟県森林研究所の倉島郁講師からチェーンソーの目立て理論を学び、その後実際に目立てを行いました。

参加した近祐二さん（若山）は、「切れない刃では、無理をするから危ない。研ぎ方は基本の作業で、安全に使うためには1番大切なこと。これからも講習会を続けてもらいたい」と目立て技術向上に意欲的でした。

その後、参加者たちは昼食を取りながら、目立てや林業について意見交換を行いました。

森林組合の佐藤課長は、「目立てを勉強してもらったので、秋には実際に現地で伐採作業の講習をしたい」と話していました。

新たに制定された国民の祝日「山の日（8月11日）」に、関川村山の会では、新潟県山岳界の先駆者である故・藤島玄さんの貴重な資料約6千点を川北ふれあい自然の家で一般公開しました。普段は、日本山岳会の会員等のみに公開されているものを、山の日限定で一般公開されました。

越後支部の有志が、分類整理に取りかかり、延べ300人を超える奉仕活動の結果、昨年6月より閲覧できる状況に整理されました。

この日は、県内外から約90人が訪れ、藤島さんが作った「飯豊連峰大地図」の解説や展示された書籍を見て、山の魅力に引きこまれていました。訪れた伊藤敏さん（下川口）は、「山岳関係の本がすごく充実していた。今まで以上に登山に興味を持ちました」と話していました。

「山の日」に藤島蔵書（山岳・登山）を一般公開



パパといっしょに
クッキング

生地からつくる秋野菜ピザ

初めてでも大丈夫! 生地をこねたり、
野菜をトッピングしたり、お子さんと楽しみながら、
ピザ作りにチャレンジしてみませんか?

*一時保育あり(要予約)
未就学のお子さんをお預
かりします。参加申込時
に一時保育の有無をお知
らせください。

*保育協力費:

子ども1人200円

*保育締切: 9月12日(月)



- ◆日時◆ 9月25日(日) 10:00~13:00
- ◆会場◆ 関川村公民会館 調理実習室
- ◆対象◆ 小学生以上のお子さんとその父親
10組(申込先着順)
- ◆講師◆ 本間真弓さん(管理栄養士)
- ◆当日の持ち物◆ エプロン、三角巾、手ふき
- ◆参加費◆ 無料

申し込み先: 関川村総務課企画財政班 ☎ 64-1476/FAX 64-0079

Mail: somu@vill.sekikawa.niigata.jp

お問合わせ先: 公益財団法人新潟県女性財団 ☎ 025-285-6610

羽越水害50年記念事業



「語り継げ! 羽越水害 子に孫に」

荒川ふれあいフォトコンテスト作品募集!

決して忘れることのできない、あの痛ましい羽越水害から
50年が経とうとしています。羽越水害50年記念事業のひとつ
として、『荒川水系^注』の「美しい風景」、「川と人々のふれあい」
などをテーマとしたフォトコンテストを開催しています。
四季折々に美しい姿を見せる荒川のその一瞬を写真におさめ
てみませんか?

注…荒川水系とは、一級河川荒川と荒川に流れ込む女川、大石
川、横川(山形県)などの支流も含めた呼び方です。

〈応募要項〉

応募期間: 平成29年5月31日まで必着

対象者: アマチュアの方で、未発表作品に限ります。

応募規定: 詳細については、下記の新潟県村上地域振興局地
域整備部のホームページ、もしくは新潟フジカラ
ー取扱い店に設置されている募集チラシをご覧下
さい。

ホームページURL:

http://www.pref.niigata.lg.jp/murakami_seibi



主催: 羽越水害50年記念事業(荒川水系)実行委員会

協賛: 富士フィルムイメージング(株)、(株)新潟フジカラー

応募・お問い合わせ先:

羽越水害50年記念事業(荒川水系)フォトコンテスト事務局

〒958-8585 新潟県村上市田端町6-25

村上地域振興局 地域整備部 計画調整課

TEL: (0254) 52-7966/FAX: (0254) 53-4511/E-mail: ngt111250@pref.niigata.lg.jp

学校からのお知らせ

今日は関川中学校からの紹介

9月3日(土)熱闘、体育祭!!

今年度の体育祭スローガンは、

一致団結 ～ 掴み取れ勝利、咲き誇れ青春 ～

リオデジャネイロ・オリンピックの興奮がまだまだ冷めやらず、勇気と感動を与えてくれた数々のシーンが記憶に鮮明に残っている方が多くいらっしゃると思います。月は変わり9月。次は、新しくなったグラウンドで、生徒が精一杯走り、跳びそして踊る関川中学校体育祭を、ぜひご覧いただきたいと思います。

今年度は久しぶりに、黄色と赤色がチームカラーとして選択されました。

チーム抽選会で奇しくも縦割り1組連合軍[「烈火」(赤)]と2組連合軍[「閃光」(黄)]となりました。この広報せきかわが発行される1日は、体育祭の前々日。応援合戦のパフォーマンスや競技練習そして準備が追い込みの段階に入っていることでしょう。生徒・職員ともども当日に向かって意気込む姿とともに、焦りの色が見えるころと思います。しかし誰もが当日の成功を期して、力を尽くしているはずです。

ぜひ足を運んでいただき、オリンピックとはひと味違う、汗と涙、興奮と感動を一緒に味わいましょう!!

『おもてなし』10月は文化祭!!

今年度の文化祭は、10月29日(土)、30日(日)の2日間。29日は例年通りに作品展と合唱発表会を実施し、さらに翌日の30日は『おもてなし』活動です。

5月の関川中学校からのお知らせには、「生徒が学校田での「もち米」栽培に携わります。そして収穫したもち米を使った“おもてなし料理”を地域の皆様にご提供し、日ごろのご支援に対して感謝の気持ちを表したいと考えています。」とお知らせしました。キャリア教育の一環として、郷土愛を育むことを大きなねらいとしている学習活動です。文化祭の2日目は、生徒の手から、生徒の表情から感謝の気持ちが伝われば幸いです。現時点では学校から近い場所で、もち米を使った一品をご提供、そしてもち米の販売を考えています。これまでにない趣向にご期待ください。



実りまでもう少し



大きな舞台で活躍! ～がんばれ!関川っ子表彰～

7月28日、青少年育成関川村民会議(伝信男会長)は「がんばれ!関川っ子」を村民会館で開催しました。激励会には、村教育委員会や保護者など関係者約30人が出席。全国大会や北信越大会に出場した選手、これから出場する選手にエールを送りました。



— 全国大会出場選手 —

■柔道

- ▷小池 優佳 (関川中学校1年・下関)
- ▷小池 陽菜 (新潟第一高校3年・下関)

■ゴルフ

- ▷瀬賀 百花 (開志国際高校3年・下関)

■バスケットボール

- ▷伊藤 頷 (開志国際高校2年・辰田新)

— 北信越大会出場選手 —

■サッカー

- ▷米野 万尋 (関川小学校5年・上関)
- ▷近 朋之 (関川小学校5年・大島)
- ▷天木 輝生 (関川小学校5年・下関)
- ▷堀 新太 (関川小学校5年・沢)

■バレーボール

- ▷山口 雄大 (村上桜ヶ丘高校3年・蛇喰)
- ▷渡辺 海斗 (村上桜ヶ丘高校3年・下関)

■学校農業

- ▷須貝 海心 (新発田農業高校2年・下関)

■柔道

- ▷高橋 孟 (東京学館新潟高校3年・下関)
- ▷高橋 郁 (新発田農業高校1年・下関)



健康せきかわ21 いきいきライフ

9月は新潟県自殺対策推進月間です

県の年間自殺者数は減少していますが、県の自殺死亡率は全国ワースト上位です。県は「みんなで守る新潟のいのち」を掲げ、県民に予防を呼びかけています。村でも、県やNPO法人「ホップステップげんき」とともに、村民の皆様は村の現状を知ってもらい、自殺防止の力にしていくための取り組みを継続しています。ご理解、ご協力をお願いします。

■新潟県こころの相談ダイヤル（毎日24時間）

ナビダイヤル なやみ なし にいがた
0570-783-025

■村や村上保健所も相談窓口です。精神疾患の医療費助成や制度等もあります。

住民福祉課 健康介護班（保健師）64-1472 村上保健所（0254）53-8369

■10月にコミュニケーション講座SSTを行います。対人関係に有効な認知行動療法を用いた講座です。詳細は後日チラシを全戸配布します。ぜひご参加ください。

～いのちと体を大切に！～

新成人へ…いのちと体の大切さを感じて、健康管理に関心を高めてもらいました。

▼アルコール体質判定パッチを腕に試す新成人



ベビー人形を抱き、20年の成長を感じる新成人▶



9月4日から9月10日は「救急医療週間」

この機会に普通救命講習会を受講してください！

9月9日は「救急の日」、9月4日から9月10日は「救急医療週間」です。

応急手当の知識や技術を身につけ、突然の事故からあなたの大切な人の命を救いましょう。

AED（自動体外式除細動器）は、電気ショックを与えて、心臓の動きを素早く正確なリズムに戻すことにより命を救う医療器具です。

AEDの取り扱いについては、日本赤十字社新潟県支部や各消防署で講習会を実施していますので、この機会にぜひご参加ください。

詳しくは、県医務薬事課 ☎ 025-280-5187 まで

村内の主なAED設置施設

- ・ 関川村役場
- ・ 村民会館
- ・ 小中学校
- ・ ふれあいど〜む など



AED設置施設の表示



AED設置例
（ふれあいど〜むのAED）

健康講座

137

腸閉塞症

新潟県立坂町病院外科 島田 哲也

腸閉塞症という病気を聞いたことがあるでしょうか。専門用語でイレウスとも言われます。腸閉塞症とはその名の通り腸管が閉塞し、食べたものが通過しない病気です。通常口から食べたものは、食道を通り、胃で消化を受けた後、小腸でさらに消化、吸収が行われ、大腸で残った水分が吸収され、残りが便として排泄されます。この過程の内、小腸あるいは大腸に閉塞が起こると、食べたものや消化液が停滞し、腹部膨満、腹痛、嘔吐といった症状を引き起こします。閉塞の原因は様々ですが、開腹手術後の癒着によるものが半数以上を占めています。何十年前にも開腹手術を受けたことがあり、それまでなんともなくとも、ある日突然腸閉塞症となることもあり

ますので、開腹手術を受けたことがある方は要注意です。近年、当科でも積極的にに行っている、腹腔鏡手術が普及するようになり、今後は開腹手術後の癒着による腸閉塞症は減少するのではないかと期待されています。腸閉塞症の治療は閉塞の原因によって異なりますが、減圧が基本です。イレウス管というチューブを鼻から入れ、腸の中に溜まった食物残渣や消化液を抜き、腸管の減圧を行います。腸管の減圧がなされると、狭くなっている腸管の浮腫みなどがとれ、開通することが期待できます。イレウス管を使った造営検査により、減圧だけで治るものであるか、手術加療が必要であるかの判断もできます。減圧により改善しない場合は、手術により癒着を剥

離したり、狭くなった腸を切除したりすることもあります。また、腸管が捻じれるなど、血流障害を伴う場合は、そのままにしておくと腸管が腐ってしまいますので、緊急手術が必要となることもあります。腹痛、嘔吐といった症状はいわゆる食あたりでも起こりますが、その場合閉塞はしていませんが、通常排便を認めないため、通常排便を認め、多くは下痢を伴います。便が出ず、腹部膨満、腹痛、嘔吐等の症状がある場合は腸閉塞症の可能性もあるため、かかりつけのお医者さんに相談してみてください。ただの便秘である場合も多いので心配しすぎる必要はありませんが、特に開腹手術を受けたことがある場合は、早めの相談をお勧めします。



*このコーナーへのお問い合わせは、県立坂町病院へ。

☎ 62-3111



▲元気に村内を歩く2日目（7月28日）の様子

関川子どもチャレンジ100 涙ありの感動の4泊5日 可能性に挑戦した5人

関川小学校6年生5人が、越後米沢街道64kmと村内37kmを歩く「関川子どもチャレンジ100」に挑戦しました。これは、村民有志でつくる実行委員会（代表・佐藤修一教育長）が、100kmを歩く

冒険を通して、子どもたちが自分の可能性に挑戦し、ワクワク感、連帯感、達成感等を味わい、協調性や頑張る力、信頼感などを育んでもらおうと、初めて企画したものです。7月27日の小雨振る午前6



生涯学習 情報ステーション

広報せきかわ「お知らせ版」とあわせてご覧ください

◆お問い合わせは村民会館へ
☎ 64-2134

時に、父母らに見送られ役場前を出発。随行は、佐藤修一代表と小中学校の職員ら5人。2日目までは、村内を巡り、3日目から米沢街道を諏訪峠から鷹ノ巣峠まで13峠を歩き切りました。

7月31日は、心配する父母らをよそに、元気に両手をつないでゴール（表紙写真）。誰一人リタイヤすることなく、101kmを完歩しました。

リーダーを務めた高橋永さんは、「みんなと励ましたり料理を作ったりしたこと、協力することを学んだ。この挑戦で得た経験をこれからの生活に活かしていきたい」と感想を発表しました。

朝食と夕食は自炊し、水道水で体を洗う風呂のない生活も体験。たくましくなった5人の姿に、佐藤修一代表は、「来年も継続し、子どもたちの成長をみたい」と話していました。

●参加小学生
高橋 永（高瀬）
高橋直弘（上土沢）
近 都和（上関）
大島叶也（上野新）
津野幹太（下関）



図書室の窓から

村民会館図書室

朝夕はだんだんと涼しくなり、風も秋の匂いになってきました。いよいよ『読書の秋』が到来♪ 人生を変えるような素敵な一冊に出会えるといいですね。

この本よんで!!

「ゆっくりゆっくりなまけものくん」
オームラ トモコ/作・絵



高い木に住むなまけものくん。めったに木から降りません。今日はあまり暑いので水遊びに行くことにしました。なまけものくんがゆっくりゆっくり、降りていくと…。上から下へ進んでいく縦開きの楽しい絵本。ラストにはおどろきのしかけがあります。

今月の1冊

「トットちゃんとソウくん戦争」
黒柳 徹子 田原 絵一朗



太平洋戦争が始まったとき、トットちゃんは小学2年生、ソウくんは小学1年生だった。「戦争を知っている世代」のふたりが「戦争体験」と「戦争責任」のすべてをかたる。大人も子どもも、みんなで読んで考えたい。



今月の図書館バス

にじ色と、「汽車」のメロディーが目印です。
高田～沢～女川 方面 ……………11(日)
大島～片貝～大石 方面 ………3(土)18(日)

17日出は おはなしのかい 毎月第3土曜日です

ブルーベリーの皆さんが贈る、ステキなおはなしの世界…。ろうそくを使ったの演出が幻想的です。家族みんなでの参加も大歓迎！無料です！

参加してくれた子どもたちにはかわいいシールをプレゼント!

毎週水曜日がお休みです。平日は、13時～17時30分まで、土・日・祝は、9時～17時まで開館しています。

あなたに直撃



中山尚輝さん
(関川村役場地域包括支援センター・村上市)

この4月から関川村の職員に採用された中山尚輝さんに話を聞きました。

—社会人となって今の気持ちは？

大学を卒業してから約1年間、胎内市の特養で介護士として働いていました。今年、関川村に採用となり、地域包括支援センターに配属となったので、介護士での経験を活かして業務に取り組みたいです。

—普段、心がけていることは？

時間に余裕をもって行動することです。実行はなかなかできていませんが、仕事、私生活において、計画的に時間を使えるように努力します。

—今、夢中になっているものはありますか？

バレーボールです。地元の先輩や友人たちとバレーボールをするのが楽しみのひとつです。週1回の練習ですが、普段運動しないので良い気分転換になります。

—村民の皆さんにひと言お願いします。

9月で半年が経ちますが、まだまだ慣れないことばかりです。ひとつひとつの業務にしっかりと取り組み、村民の皆さまのお役にたてるように頑張りたいです。これからよろしく願います。

昨年に引き続き今年も支給されます 臨時福祉給付金

消費税率の引き上げに伴う『臨時福祉給付金』が、昨年に引き続き今年も支給されます。

今年は臨時福祉給付金と障害・遺族年金受給者向け給付金の2つの給付金が支給されます。2つの給付金は条件を満たせば同時受給可能です。

対象と思われる方へは、9月中旬に申請書を郵送します。忘れずに申請ください。



カクニンジャ 検索

平成28年度臨時福祉給付金	障害・遺族年金受給者向け給付金
対象者の条件 (全て満たすこと) ①平成28年1月1日に関川村に住所があること ②平成28年度分の住民税(均等割)が課税されていないこと ※ただし、住民税(均等割)が課税されている方に扶養されているときや生活保護を受けている方は支給の対象となりません。 給付額 1人3千円	対象者の条件 (全て満たすこと) ①平成28年度臨時福祉給付金の支給対象者であること ②障害基礎年金または遺族基礎年金を受給していること ※ただし、平成28年春の『高齢者向け給付金』(3万円)を受給した方は支給の対象となりません。 給付額 1人3万円

初回支給予定日 10月以降 申請期限 12月12日(月)

問い合わせ先 住民福祉課福祉保険班 ☎ 64-1471

または厚生労働省給付金専用ダイヤル 0570-037-192

大会結果

*敬称略

第6回 しばた ナイター陸上競技大会

■期日 8月6日
■会場 新発田市五十公野公園陸上競技場

■成績

▽5・6年男子100m
▽第3位 船山 祥汰 (6年・沼)

▽4年以下女子800m
▽第1位 岡田 玲那 (2年・下関)
記録 2分52秒75

▽第3位 三原 杏莉 (4年・下関)
記録 3分03秒23
▽5・6年女子800m
▽第1位 山崎 彩水 (6年・下関)
記録 2分42秒18

▽第3位 大島 千空 (6年・上野新)
記録 2分49秒06

第6回 新潟県小学生 陸上競技選手権大会

■期日 8月11日
■会場 デンカビッグスワン
■成績
▽3・4年共通女子800m
▽第5位 三原 杏莉 (4年・下関)
記録 2分58秒44

▽6年女子800m
▽第5位 山崎 彩水 (6年・下関)
記録 2分41秒61

第48回 村長杯野球大会

■期日 8月16日
■会場 村スポーツ公園
■成績
▽優勝 下関
▽準優勝 四ヶ字ドリームス
▽第3位 新潟North
上関ブルーバード

このコーナーに登場していただける方を募集しています。自薦他薦は問いません。

じっくり心をこめて

スロー フード

150



みょうがごはん

みょうがは生で使用します。梅干しを入れるとさらにおいしいです。
夏バテ予防にぜひお試しください！

《今月のご紹介》

関川村食生活改善推進員 の皆さん

材 料 (4人分)

- ・ごはん 4膳 ・みょうが 2本
- ・かつお節 適量 ・白ごま 適量
- ・大葉 4枚

作り方

- ① みょうがは薄切りにして水にさらし、ザルにあげる。大葉はせん切りにしておく。
- ② 炊きたてのご飯に①のみょうがとかつお節と白ごまを加えて混ぜて器に盛り、大葉をちらす。

せきかわ文芸

短 歌

杖つきて独り行きたる墓参り
「よう来たなど」亡夫の声する

須貝 恵美
(高田)

葉月はや盆も祭りも誕生日も
全てひき連れ立ち去らむとす

渡辺千恵子
(上関)

関川俳句の会作品

凜と立つ葵の花に背をのびし

伊藤 久恵

雨蛙葉っぱ揺らしてかくれおり

伊藤 久恵

花殻のつきし胡瓜のおすそ分け

伊藤 久恵

梅雨晴間久し振りなる大夕日

渡辺しづい

梅雨明けときくや途端に汗が吹く

渡辺しづい

盆花やお墓参りを忘れずと

渡辺しづい

せきかわ山柳会作品「雑詠」

海の日に粟島眺めわっぱ煮を

本間 イミ

あたたかさ優しさにじむ友の声

本間 イミ

軒下に親子ツバメがむつまじい

本間 イミ

稲実る暑さとがまんの日が続く

南 セツ

盆来るよ背中押された一人者

南 セツ

夏休み子等の声なく暑い日々

南 セツ



国際ボランティア学生協会
IVUSA 通信

★今年の夏はプロ！

IVUSAでは8月、9月を中心に全国で様々な活動が行われています。今年の夏は18個のプロジェクトを実施し、延べ2700人が各地域で様々な活動をさせていただいています。

今回は8月の初旬に行われた「長岡まつり活性化活動」と「利島活性化活動」について紹介したいと思います。

◎長岡まつり活性化活動

8月2日、3日の2日間に渡り新潟県長岡市で行われる長岡まつりのボランティアとしてIVUSAから150人の学生が8月1日～4日の4日間活動しました。

主な活動は観覧席の設置、

フェニックス花火を打ち上げるための募金活動などです。

この活動の始まりは2004年に発生した新潟県中越地震にあります。「平和と復興の想いを地域内外の次世代に継げることで、長岡まつりの価値を向上させていく」ことを目的にお祭りの活性化に取り組みしました。

◎利島活性化活動

利島活性化活動は8月1日～5日、8月5日～9日までの2回に分け、延べ90人の隊員によって活動が行われました。

東京都伊豆七島の一つ利島は、椿油の生産量全国1位の自然豊かな島で、島の8割を占めるのが20万本の椿林です。

高齢化により維持の難しくなった椿林の草刈りなど椿林の管理に関わる作業を中心にを行っています。

★まだまだ活動は続きます！

9月も様々な活動が行われます。9月の活動は環境

保護の活動が中心になります。初旬には東北の青森、山形の2カ所で行われる日本海沿岸の清掃活動、滋賀の琵琶湖で行われるオオバナミズキンバイという外来植物の除去作業、また、中国での緑化活動もあります。

★10月は…

来月号は8月の終わりに関川村で行われた「えちご関川大したもん蛇まつり」のまとめです！

IVUSA学生がお祭り当日どのような活動をしたのか、大したもん蛇まつりを通してIVUSA学生が感じたことなど盛りだくさんで書いていきたいと思えます。



夏の思い出



戸籍の窓

● 7月16日～8月15日までの届出●

ごめい福をお祈りいたします

佐藤	キヨ	さん	87歳	沼
渡邊	フコ	さん	95歳	南赤谷
小池	伊一	さん	64歳	高田
新野	春一	さん	68歳	南赤谷
津野	茂	さん	90歳	宮前
沢田美耶子	さん	79歳	大島	

広報に載せてほしくない方は届出の際、窓口にお申し出ください。

人の動き

平成28年7月末現在 ()は前月対比

世帯数	1,966世帯	(-1)
総人口	5,962人	(-13)
男	2,858人	(-6)
女	3,104人	(-7)

(転入	4人	転出	10人
出生	2人	死亡	9人



編集室から

▶大したもん蛇まつりも終わり、いよいよ稲刈りを迎えます。今年は、台風による被害も今のところ無く、小学校田のコシヒカリ、中学校田のもち米も順調に穂をつけました。米の消費量が減少している中で、愛情込めて作ったお米を自分たちで食べて、振る舞って、ふるさと関川村のお米を大切にしてもらいたいですね。(と)

キラリ輝く☆せきかわっ子たち vol.58

今月は、関川中柔道部の新部長、橋輝さん(2年・湯沢)を紹介します!



家族から勧められ、中学1年生から柔道を始めました。先生から新部長に指名された時は、不安になったという輝さん。今は、みんなをしっかりとめこむこと、信頼される部長になりたいという思いが強くなりました。つらい打ち込みの練習にも大きな声を出して取り組む姿にたくましさを感じました。

⑥ 部員から見た輝さんは?

- ・おもしろくて話しやすい
- ・プロレスが大好き
- ・相手の技をかわすのが上手
- ・スポーツ万能!

⑥ 顧問の清野先生から輝さんへ

新部長として、新しい柔道部を引っ張ってもらいたい。



⑥ 10年後の自分は?

保育園の時から夢である漫画家になりたい。

今年中に黒帯を取って、
来年は団体戦でも個人戦でも
県大会に出場する!

わが家の人気者

かなこ
夏七子ちゃん(8歳)
げんき
元樹くん(6歳)

米野正樹さん 律子さん(下関)



夏七子は、かけっこ泳ぐこと、そして一輪車が大好きです。いつもニコニコしていて毎日が楽しそう。

元樹は、休日はほぼお父さんと一緒に釣りに行ったり、冬になるとスキーをしたり、こちらも毎回楽しそう。

元樹も来年小学生。2人揃っての登校が今から楽しみです。